第３回
議員カフェ～フリートークinもせうし

令和８年８月２９日

第３回議員カフェを開催しました。前半はトークテーマを「議員のなり手不足」に話し合い、後半はフリートークを行いました。

いただいたご意見ご質問などについて、フリートークにつきましては町の各担当課から回答をしていただきましたので、紙面の都合上一部とはなりますが、内容を掲載させていただきます。

議員のなり手不足

―町の行事やイベントについても土日関係なく、議員は出席している
それらを含めるとかなりの日数であり、その報酬でどうなのかなと思う

―議会や議員の仕事について、町民には伝わっていない
議員個人の活動報告はできないのか。一般質問では検討するなどの答弁が多いが、検討した結果を知りたい。街角サロンで報告するなどしてほしい

―議員報酬は安いと思っている。もっと上げて働いてもらうべきだ
１日拘束される。それなりの報酬は必要だと思う

―人と人とのつながりが希薄になっているのが、議員のなり手不足ともイコールになっていると思う。接点を作ることが大事だと思う。みんな忙しすぎる

―農家には農業委員という役職があり、各地区から１人づづ出てもらっているため人材が不足している
昔は各地区に神輿を担ぐ熱い人がいた。今はそういう人が無くなってきているのが現状である。議員に対しては他人ごとになってきている。地域の考え方や世間の風潮を変えなくてはなり手は出てこないと思う



―昔は農家地区はその地区の議員がたくさんおり、町の議員が少なかった。最近は農家地区の議員が少なくなって傾向が変わってきた。農家地区の若い方が出てくるということは無くなったのか

―わかちあい広場の事業で議員の顔を見ることは少ない
町民の声を聞きたいというのであれば、小さいサークルなどにも参加すべきではないのか

―人を集めるには、新聞折込や広報や回覧板などでは集まらない
やはり口コミである。声掛けが大切である



フリートーク

―まちづくり塾と議員報告会はできるのであれば早めに開催してほしい

回答 まちづくり塾は開催する。議員報告会はできるだけ早く開催できるよう取り組む。
回答：妹背牛町議会



―ＳＮＳで活動報告されている議員は何名いるか？自分の行動をアピールすることは大事だと思う。

回答 誰もいない。
貴重なご意見として承ります。
回答：妹背牛町議会

―20年後も妹背牛町を存続させるためには、何を残して何を消していくか選択しなければならない。
若い人が妹背牛に住んでよかったと思われるような町づくりをしていただきたいと思う

回答 貴重なご意見として承ります。

回答：企画振興課

―コテージについて、夏場に土日予約しようと思ってもできない。需要があるので、土日や夏休みシーズンだけでも料金値上げできないか
値上げしても町民は少し安くするなどしたらよい、現状だと予約が取れなくて利用しづらい

回答 土曜日及び休日前には、通常より高い料金設定している。
夏休み期間などは予約が集中し、ご希望の日程でご利用できない場合もある。
利用状況や近隣施設の料金設定等を踏まえながら、適切な料金設定と施設運営に努める。

回答：企画振興課

―なんで妹背牛町には観光協会がないのか

回答 観光協会の設立については、町の規模や観光資源、運営体制などを総合的に考慮っする必要があることから、現時点では設立を予定していない。今後も既存の組織や関係団体との連携を図りながら魅力発信と観光振興に努める。

回答：企画振興課



―今、駅は自動改札になったので、北側だけでなく南側にも改札を作れば階段を上らなくても済むし、南側の稲田の方からの利用者が増えると思う

回答 妹背牛駅のある函館本線は、上り線・下り線の複線で走行する高速線区区間のため、上り列車に乗車するには、現在こ線橋を渡る必要がある。駅舎の反対側に改札口を新設する場合、特急列車等が高速で通過する線路を安全に渡るためのこ線橋に加え、ICカード対応の改札機を設置する駅舎や上り線ホームの新設、動線整備などが必要となるため、南側に改札機を設置することは、多額の費用を要することから困難である。

回答：企画振興課

―定住促進の上で、町のホームページに中古住宅の情報は載っているが、値段が載っていなくていくらかわからない、窓口や仲介業者が入って紹介することができれば移住者等が問合せしやすいと思う

回答 中古住宅の価格については、所有者の意向に基づき掲載の有無を決定している
価格の掲載を希望されない所有者もいることから、町として一律に価格を掲載することは難しい状況である
今後も所有者の意向を尊重しながら移住希望者等からお問合せがあった際には、適切な情報提供に努める

回答：企画振興課

―敬老会の資料に、75歳以上の人の名簿がついていない、健在なのかどうか確認するためにも、名簿をつけた方がいいと思う

回答 10年以上前から、個人情報保護法の関係上、掲載していないので、ご理解いただきたい。

回答：健康福祉課

―米の主産地なのだから、妹背牛の米をもう少し宣伝する方法はないのか

回答 農畜産物の消費拡大及び消費者交流の事業として①ふれあい農園での体験事業（コープ札幌）②収穫感謝祭の実施③札幌オータムフェストへの参加④空知フェア（四季彩館）への参加⑤妹背牛夏祭りへの参加等を実施している。
また、ふるさと納税での返礼品でお米をPRしている。

回答：農政課

今回いただいたご意見・ご質問などにつきましては、次回の議員カフェにて回答いたします。

妹背牛町議会はYouTubeで配信しています

妹背牛町議会ではYouTubeにて定例会での各議員の一般質問を本会議終了後に公開しています。お気軽にご視聴ください。

妹背牛町議会　YouTube　検索